

ひがしやまっ子



外国語科の授業

本校では「主体的・対話的で深い学びのある授業づくり～自分の考えを表現することが楽しいと思う授業づくり～」という研究主題のもと、長年、外国語活動の授業の研究をしてきました。これまで積み上げてきた授業を大切にしながらさらにより良い学びのある授業を目指して、全教員で取り組んでいるところです。18日には5年1組の外国語科の授業を校内で公開しました。

「自分や相手のこと及び身の周りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。」ことを目指した授業でした。「誕生日にほしいものについてたずね合おう!」ということでペアになって「What do you want for your birthday?」

と英語でのやり取りをしていました。上手にやり取りをしているペアや教師のモデルを全員で確認し、さらによりよい伝え合いを目指していく授業でした。これまで学んできた表現を使ったり、新たな表現を取り入れたりしながら全員が生き生きと楽しそうに授業に参加していました。



昨年度の外国語意識調査では

- 「①外国語活動の授業は楽しい。 94.9%」
- 「②外国語活動の授業に進んで参加している 93.4%」
- 「③外国語活動の授業の内容を理解していると思う 96.4%」
- 「④英語で自分のことや意見を発表することが楽しい 80.1%」

でした。①②③は今年度も継続し、④は更に伸ばせるように授業改善を進めていきたいと思えます。

今日の外国語活動はいろんな先生が見に来て少し緊張しました。最初は「誕生日に何がほしい?」と言えなかったけど、何回か友だちと交流したら言えるようになりました。先生たちが見に来なくても、次からもがんばりたいです。(5年生の感想より)

1年生の授業を見ていただきました！ ～保育所・幼稚園の先生との交流～



17日には東山保育所、古津賀保育所、あおぎ保育所、中村幼稚園、ひかりこども園の先生方に1年生の授業の様子を見ていただきました。「1組も2組も落ち着いて、しっかり話が聞けていました。」との感想をいただきました。1ヶ月余りですが確かに成長している1年生です。授業後には本校

が作成している「スタートカリキュラム」(1年生の1ヶ月の時間割や教育内容)や小学校で目指している子どもの姿や小学校教員が大切にしていきたいことを共有したり、学級の様子を伝えたりして交流をしました。1年生がスムーズなスタートができるようにこれからも保・幼・小で交流していきます。

考古学出前授業

20日に6年生が高知県埋蔵文化センターの職員から古代から弥生時代の石器の説明を聞いたり火起こしの体験をしたりしました。実際、石器に触れることで歴史への興味がまた一段と深まったのではないのでしょうか。火起こしも夢中になっていましたが、なかなか煙が出



ず、悪戦苦闘していた6年生でした。専門的な説明がこれからの歴史の授業に生かされることを期待しています！